

みなとまちづくりマイスター認定

アクアマリンふくしまの安部館長が認定されました

8月7日、(社)ウォーターフロント開発協会は、みなとまちづくりの成功事例において中心的な役割を担った方を認定する「みなとまちづくりマイスター」に、アクアマリンふくしまの安部義孝館長ら6人を新たに選定しました。

安部館長は、東日本大震災により大きな被害を受けた環境水族館「アクアマリンふくしま」をわずか4ヶ月で再開させ、いわき市及び福島県の元気をいち早く全国へ発信。風評被害に見舞われながらも、小名浜港の賑わいを取り戻すため、懸命に活動した功績が称えられました。



▲表彰状を手にする安部館長(左)と国土交通省山縣港湾局長

みなとまちづくりマイスターとは

港の新たな賑わい創出や地域の活性化などの活動において中心的な役割を担った方を「みなとまちづくりマイスター」として、毎年海の日に認定。認定後は、活動事例などを広く周知するとともに、マイスターの派遣等を行い、各地域との情報交換を進め、「みなとまちづくり」を推進する活動を行います。

この制度は平成20年に創設され、今回も含めて37人が認定されています。



同日、全国から集まったマイスターの方たちとのシンポジウムも開催され、「これからのみなとづくり」をテーマに、様々な意見交換が行われました。

